

第17回 ちゅうでん教育振興助成（平成29年度）

報告書資料 一般 - 60

学校名・団体名	豊川市立天王小学校
HPアドレス	<a href="https://www.city.toyokawa.lg.jp/shouchuuichiran/te-tennou/index.html">https://www.city.toyokawa.lg.jp/shouchuuichiran/te-tennou/index.html</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	未来へのメッセンジャー ～天王風土記を作ろう～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>本校のある豊川市牛久保町は、明治時代から市場町、家具・呉服屋の町として栄え、「嫁入り道具は牛久保で」とも言われ一大産地を形成し、賑わっていた。</p> <p>現在、町の中心部の商店街ではシャッターを閉めているところがほとんどで寂れる一方である。また、区画整理も始まり、今までの街の様子が一変しつつある。こんな町を見つめ直し、町の歴史を再確認させたい。それが郷土愛を育むことになると考えた。</p> <p>そこで、学区の様子や歴史を自分たちの足で調査し、『天王風土記』としてまとめ、歴史を学び伝える活動を計画した。キーワードは「歴史に学ぶ」である。</p>	

## 1 活動時期・内容

- 4月：総合的な学習の時間のテーマを「地域の歴史を学ぶ」に設定する。  
地域で気になること、知りたいことを探す。
- 5月：地域に住んでいる人に話を聞く。  
「元家具屋店主」「神社氏子総代」「元天王小学校職員」「天王小学校OB」「寿会」
- 6月：地域の史跡めぐり  
「瀬木城跡」「牛久保城跡」「今川義元洞塚」「西島神社」
- 7月：専門家の話を聞く  
「地域の歴史家」「博物館学芸員」
- 8月：地域調べ  
夏休みを利用して個人テーマに沿った地域調査・取材を行う。  
・昔の街並みについて      ・お祭りについて      ・昔の地名について  
・歴史上の人物について      ・町に伝わる伝説について      ・神社について (寺町)
- 9・10月：調べてきたことをまとめる  
調べたことをまとめ、PCへ打ち込む。写真や資料を添付する方法も学ぶ。
- 11・12月：天王風土記の編集  
調べてきたことを一人あたりが各自A4・1ページ分にまとめ、1冊の本にする。
- 1月：語り部の練習  
3分で発表する練習をする。お互いに聞きあい、話し方を学ぶ。
- 2月：語り部発表会  
地域の人や保護者などに語り部として調べてきたことを発表する。

## 2 成果と課題

地域の歴史を自分たちの手でまとめる『天王風土記』作りに挑戦した。

今年度のNHK大河ドラマ「直虎」で地元との関わりが話題となり、子どもたちの興味を引いた。その場所を見に行きたいという気持ちが始まりとなった。このことをきっかけに地域の歴史に興味を持つ子が増えた。自分たちで調べる中で、町の歴史ボランティアガイドの話聞き、より地域に対して興味を深めることができた。また、学校の歴史を調べていく中で、有名な詩人の碑が学校にあることや、校名が完成直前に変更されたことなどを知り、興味を持って調べる子も出てきた。また、地域と合同運動会を行っていることや天王まつり（収穫祭）では、保護者だけでなく地域の方も招待して行うなど地元との関わりが深い地域であり、親達の多くが卒業生で子どもたちにとって身近で魅力ある教材となった。

夏休みの地域調べでは、写真を撮るよう指示した。撮ってきた写真を見せ合う時には、自分が調べたことを一生懸命に伝えようとする姿を見ることができた。写真は自分たちが調べた証拠となり、写真についての話は、つきることがなかった。

「石屋踏切って、昔有名な石屋があったからついたんだって。」

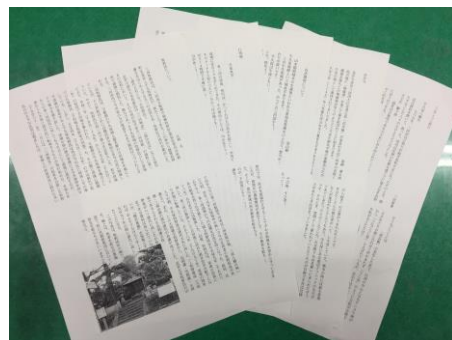
「戦国時代の牧野氏って『うなごうじまつり』の元になっている人なんだって。」

「西島神社って大きな絵馬が有名らしいよ。」

自分が調べてきた内容と歴史とがつながり、地域の理解を深めることができた。

語り部発表会では、緊張する中で自分が調べてまとめた内容を懸命に発表する姿が印象的であった。

本活動を通し、地域の人や歴史を詳しく知ることができ、自分たちも地域の一員であるという気持ちを育むことができた。また、自慢の地域について、調べたことを他の人に伝えたり、まとめたりすることを通し、さらに地域の歴史メッセンジャーとして、地元愛を深めていくことを期待している。



天王風土記 (原稿)



発表会の練習風景